

1. 環境・体制整備

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

- ・利用人数が15名を超えると狭く感じる。
- ・勉強と活動の部屋を分けたり、テーブルを動かして活動スペースを作る等し工夫している。
- ・身体を動かす活動の時には机の配置を変えたり工夫をしている。
- ・室内での活動の場合、利用人数が多いと十分な広さが確保できていないように感じる。
- ・人数が多い日は狭く感じることもある。

② 職員の配置数は適切であるか

- ・遅い時間に送迎の子が複数いると少ない職員で把握、活動をしなければならない。

③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

- ・車いすが入らない場所がある。(トイレ、キッチン)
- ・キッチンや洗面所は子どもにとっては高いが、踏み台を使用し対応している。
- ・室内に段差はないが玄関が階段の為、介助や見守りをしている。
- ・トイレ介助を行う際、2人で入るには少し狭かったり、途中で入る際に隠すものがない。

2. 適切な支援の提供

④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

- ・研修会を行っている。

⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか

- ・昨年度の評価について話し合い改善を行った。
- ・ホームページにて前年度の評価表結果を掲載している。ホームページに記載していることに関して周知できていないように感じる。

⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

- ・ホームページにて公開している。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

- ・職員間で研修を行い、資質の向上をはかっている。

3. 適切な支援の提供

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

- ・一番初めに答えてもらっているものはある。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか

- ・職員間で話し合い決めている。
- ・職員全員の意志を取り入れ作成している。
- ・次の月の活動を職員で意見を出し合い決めている。
- ・職員間で意見を出し合いながら作成している。

⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

- ・各職員分担で行っている。
- ・以前の活動予定表を確認しながら行っている。
- ・毎月取り入れる活動（サーキット、リトミック）と新しい活動を組み合わせている。
- ・職員がいろんな情報を集め、活動に反映している。

⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

- ・1日のスケジュールを決めて支援している。
- ・コグトレやプリントを冊子にしている。
- ・長期休暇、学業休業日だからこそできる活動（外出、交通機関使用、公共施設利用など）を多く取り入れている。

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

- ・個別には難しいが、指先の運動などは時間を見ながら取り組んでいる。

⑮支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか

- ・活動内容によってはあらかじめ内容を伝え、他の職員に役割を振って円滑に進むようにしている。
- ・スケジュールの確認、送迎の確認をしている。
- ・朝の申し送りにて職員それぞれの役割分担の確認をしている。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

- ・支援をするなかで気づいた点や子どもと会話をする中で気になった発言などは伝えている。
- ・支援終了後に、気づいた点を話し合い、翌日の申し送りでも再度伝えて情報を共有している。

⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

- ・連絡帳記入、その他気になる事は利用児個人の日誌に備考欄に記入。

⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか

4. 関係機関や保護者との連携

⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

- ・下校時刻の紙を頂くところもあるが、ないところもある。また、下校時刻が変更になった場合、保護者からの連絡がないと分からない。
- ・下校時刻の確認をしたり、送迎時間が遅れる場合は学校へ事前に連絡を入れている。

②②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

- ・主治医ではなく、保護者への連絡となっている。
- ・保護者から情報を提供して頂いている。
- ・家族との連絡は行っている。
- ・今はいない。エピペン保持者はいる。
- ・エピペン保持者の場合は、使用方法、病院への連絡等の内容を保護者より教えて頂いている。

②③就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

- ・新年度が始まる前に情報提供を行っている。

②④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

- ・まだいない。
- ・対象児がまだいない。

②⑤児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

- ・法人内の児童発達支援センターにて新人研修、職員研修を行った。

②⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるのか

- ・障害のない子どもとの活動がなかった。
- ・柳川りんどうや他の放課後等デイサービスと交流会を行った。2月び〜ず南との交流予定。
- ・他事業所（チャイルドハート）、柳川りんどうとの交流。
- ・障害のない子との交流はなかったが、法人内（び〜ず南、柳川りんどう）や他事業所（チャイルドハート）との交流はあった。今後も交流は積極的に行っていく。
- ・法人内（び〜ず南、柳川りんどう）との交流を行った。また、他事業所のチャイルドハートとの交流を行った。神社や公園、図書館へ行った際は、その場に居合わせた子どもとの関わりが見られる時もある。

②⑦（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。

⑳日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

- ・送迎の際に様子を見てお伝えできる際には行っている。
- ・連絡帳や送迎時に様子を伝えている。

㉑保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

- ・子どもの関わりに困ってある場合には口頭ではあるが、ペアトレの内容（ほめるなど）を伝えたり対応をしている。

5. 保護者への説明

㉒運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

- ・契約時に説明をしている。

㉓保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

- ・連絡帳、電話等で行っている。
- ・連絡帳、電話などで相談があった場合は助言し、事業所で支援できる所は支援している。

㉔父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

- ・開催はない。
- ・開催はないが、今後は保護者が参加できる活動などを取り入れ、保護者同士の交流の場を取り入れられたらと思う。

㉕子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

㉖定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

- ・LINE や連絡帳、電話で行っている。
- ・活動時の写真は個別に LINE で送信している。
- ・会報は出していないが、毎月、活動予定を配布、活動の様子の写真を LINE にて送信している。

③⑤ 個人情報に十分に注意しているか

- ・ 個人情報が記入されている資料や日誌等は鍵付きのキャビネットに入れ保管している。

③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

- ・ 門松づくりでは外部から来ていただいた。
- ・ 門松づくり、マジックショーの活動でボランティアの方に来ていただいた。
- ・ ボランティアに来てもらったりしている。

6. 非常時等の対応

③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

- ・ 保護者に周知しているのかわからない。

③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

- ・ 毎月1回テーマを決めて行っている。
- ・ 月に1回、避難訓練を行っている。

④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

- ・ 虐待防止についての社内研修を行っている。

④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

- ・ 拘束をする児童がいない。
- ・ 対象の児童がいない。
- ・ 身体拘束をする子がいない。

④②食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

・医師の指示書のコピーを提出して頂き、おやつ、調理の提供をしている。保護者との確認を徹底している。

④③ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

・ヒヤリハットのファイルを作成し、職員間で今後同じことが起きないように会議をして重大な事故に繋がらないようにしている。